

2022年上半期分 成田空港貨物取扱量

— 総取扱量（上半期）、2年連続で100万トンを突破 —

1. 概 要

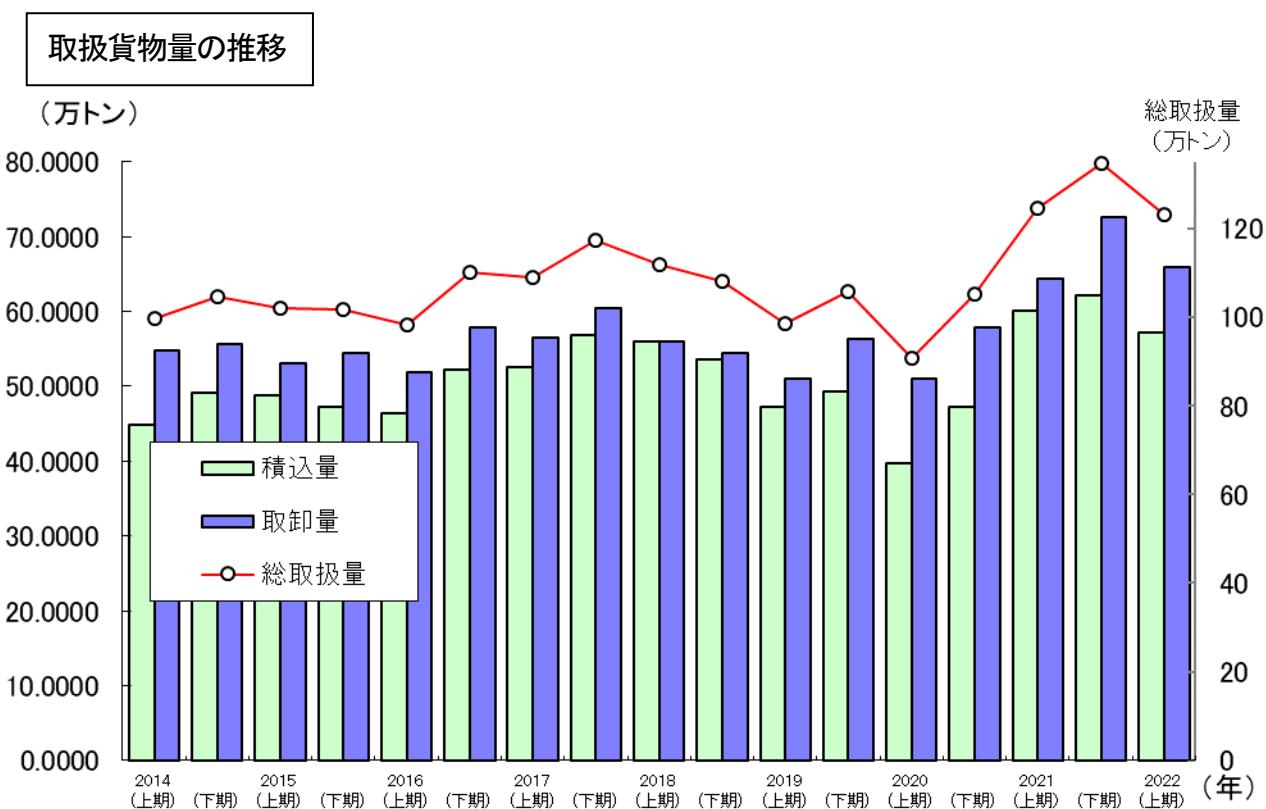
2022年上半期の成田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 約 123万1千トン (前年同期比 1. 1%減)

積込量 約 57万2千トン (同 4. 8%減)

取卸量 約 66万トン (同 2. 4%増)

となり、前年同期比で総取扱量、積込量はマイナス、取卸量はプラスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（成田航空貨物出張所）の資料による旨を注記してください。

2. 本資料の問い合わせは、東京税関成田航空貨物出張所通関総括第2部門（TEL0476-32-6116）までお願いします。

2. 通関地域別動向について

(1) 輸出量

成田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

成田地域通関	14万5千トン (前年同期比	10. 2%減、シェア35. 3%)
その他地域通関	26万5千トン (同	4. 1%減、 同 64. 7%)

となっており、前年同期比で成田地域通関分、その他地域通関分ともにマイナスとなった。

(2) 輸入量

成田空港において輸入された貨物量を通関地域別に見ると、

成田地域通関	40万6千トン (前年同期比	5. 5%増、シェア82. 5%)
その他地域通関	8万6千トン (同	7. 8%増、 同 17. 5%)

となっており、前年同期比で成田地域通関分、その他地域通関分ともにプラスとなった。

3. 仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量	16万2千トン (前年同期比	0. 8%減)
取卸量	16万8千トン (同	6. 5%減)

となっており、前年同期比で積込量、取卸量ともにマイナスとなった。

4. 生鮮・ドライ取卸貨物動向 (他官署通関分を除く)

2022年上半期の成田空港で輸入された貨物(成田地域通関分)を生鮮貨物、ドライ貨物別にみると、

生鮮貨物	5万1千トン (前年同期比	6. 5%減、シェア12. 5%)
ドライ貨物	35万5千トン (同	7. 4%増、 同 87. 5%)

となった。

成田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

(単位: トン)

		2022年上半期	2021年上半期
成田空港輸入貨物量		405,738 (105.5%)	384,727 (127.7%)
内訳	生鮮貨物量	50,918 (93.5%) [12.5%]	54,482 (114.2%) [14.2%]
	ドライ貨物量	354,820 (107.4%) [87.5%]	330,245 (130.2%) [85.8%]

注. () 内は前年同期比、[] 内は構成比である。